〇年〇月〇日

○○○教育委員会

　教育長　○○○　様

○　○　○　○　○保育所

所　長　 ○　○　○　○

○年度○○○保育所園評価報告書

１ 保育所における自己評価の記録

|  |  |
| --- | --- |
| 月 | 自　己　評　価 |
| ４８12１２ | 〇中期経営目標・経営計画説明、共通理解（1日）〇中間評価（2日・16日）①評価項目の検討・共通理解②保育活動やクラス経営全般についての評価③分掌業務についての評価〇保護者アンケート内容検討（7日）〇保護者アンケート実施（1月13日）、集計・分析〇総括的な自己評価（2日・24日） |

２ 評価結果

　(1)本年度の保育目標の実現状況＜保護者アンケートの結果を踏まえた評価＞

保育士等が自らの保育実践を振り返って自己評価するとともに保護者アンケートを実施した。その結果、保護者の約90％が、３つの保育目標を、概ね達成していると評価している。また、保育内容も保育士の約80％が達成していると評価している。これらの結果を踏まえ、全職員で一年間を振り返り、保育目標は概ね達成できたと捉えることができる。

資料１：保育所のしおり

　(2)総括的な自己評価結果について

＜成果＞

* 1. 各評価項目の取組結果は比較的高く、各職員は重点目標を意識し、課題を共有する姿勢が見られるようになった。また、その取組に応じた成果が見られた項目が多かったことは、本年度の大きな成果と評価できる。
	2. 保育・教育活動の充実に関する項目については、特色ある園づくりとして舞台を設置したことがよかった。表現する喜びや感性の育成への積極的な取組が評価されたと捉えた。しかし、園内外の環境整備については、成果結果が取組結果に比べて低く、教材の提示に積極的に取り組んだが、提示した教材を子どもたちが活用したり自分たちで保育室を整えようとしたりする姿にはつながらなかったことから、教材の適切さの検討や指導の展開について工夫する必要があることが分かった。
	3. 職員の協力体制作りについては、話し合いの機会を多く持つことができ、園務に関するマニュアルが必要なことが分かった。また、園内研究を多く設定できなかったが、保育者同士で課題を共有し教え合う姿が見られるようになったことは、大きな成果といえる。

＜課題・主な改善策＞

1. 環境整備・教材開発の充実

・ 遊びの中に生かせる製作の教材開発と、一人一人の自分らしさを認め生かしていく援助を工夫する具体的な方策等を次年度の園内研修の課題にし、保育の充実だけでなく、保育者の資質向上につなげていきたい。

1. 子育て支援に関する広報の工夫

・ ホームページでも吹き出しやイラストなどで変化をつけ、更新していることを分かりやすくする。

・ 在園児の活動に支障がない程度に、一緒に体操や踊りをするなど取り入れていく。

資料２：園評価用紙